「第2期潮来市学校適正化計画」についての各地区説明会（牛堀中学校区） 会議録

○日 時 : 令和6年5月30日（木）19:00～20:10

○場 所 : 牛堀公民館1階 大会議室

○出席者 : 42名

○議事録

1. 開会

2. あいさつ: 教育部長

3. 説明

「第2期潮来市学校適正化計画[概要版]」

- 計画の背景と目的
- 潮来市の小・中学校の状況と推計
- 小・中学校の規模及び配置に関する基準
- 小・中学校適正化の方向性の見直し
- 小・中学校の適正化方策
- 年次計画

4. 質疑応答 ※（ ）は事務局の考えを示したものです。

事務局: 本計画についてご質問等ある方は挙手をしていただいた上で、氏名、所属等を言って質問してください。

A 氏: 中学校の一元化により教員数が減ります。教員が減ることにより、子どもに関わる時間も減ります。統合を推し進めることにより、不登校率が上がってしまうのではないのでしょうか。

事務局: 少人数学級の場合、人間関係が固定化してしまうことがあります。また、いじめが生じてしまった場合でも、クラス替えができません。そのような苦しい思いをする児童生徒がいないようにしたいと考えています。

B 氏: なぜ、R8に牛堀中だけ先行して統合する必要があるのですか。R11に全中統合するのであれば、その時まで待つことはできませんか。

事務局: 昨年度、各校PTAとの懇談会を開催しました。その中でも、人数が減る前に統合をする必要があるのではないかとの話がありました。計画の策定委員会の中でも同様の話が出ており、それらを基に今回の計画を策定しております。

- C 氏：① 計画中有る適正規模基準はなにを基にしているか。
② こども基本法の観点が入っているのか。

事務局：① 適正規模基準については、文科省の基準を基に、教員の配置基準等を勘案して算出しております。
② 児童生徒にも各種アンケートを実施しております。
注) こども基本法第11条には、「国及び地方公共団体は、こども施策（こどもに関係する施策）を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。」と規定されています。

- D 氏：① 統合についての保護者への報告が、統合が決定してからの報告だった。PTAとの懇談会を開催したとのことだが、他の保護者は知らなかった。保護者の同意を得てから、統合を決定してほしい。
② 通学路や、ジャージ等の学用品、児童生徒のケアについてはどうなるのか。

事務局：① 本計画は令和6年3月に策定されたものであり、その内容について、現在、説明会を開催しております。
② 詳細については、7月に立ち上げる統合準備委員会や専門部会の中で協議してまいります。また、統合に対する不安を抱く児童生徒もいらっしゃると思いますので、学校間の交流事業を多く実施することにより、不安の解消を図っていきます。

- E 氏：部活動の指導について、今後外部指導者になると聞きましたが、今現在で決まっていることはありますか。

事務局：生徒数が減れば、部活動も一つの学校では成り立ちません。また、令和8年4月から教員が土日の部活動に関わらなくなるため、地域の指導者へ移行するため取組を進めています。地域の指導等の確保など課題もありますが、子ども達にとって最善な形となるよう進めてまいります。

- F 氏：統合には、メリット・デメリットが存在すると思います。統合により教員数が増えることにより、教員の負担は減ることもメリットの一つだと思います。教育委員会考える、統合のメリットは何ですか。

事務局：統合のメリットとしては、一校化することにより生徒数が増え、クラス替えが可能になることによって、人間関係の固定化を防ぐことができることです。また、部活

動の選択肢が増えることにより、子ども達が望む部活動に入ることができるようになります。このように、統合により子ども達の学習環境を向上させることができます。他にも、生徒数が増えることにより、友達と切磋琢磨する気持ちが芽生え、社会性やコミュニケーション能力の向上にもつながります。

G 氏：統合により環境が変わることによって、子ども達が不安にならないか心配です。

事務局：統合前から、学校同士の交流事業を増やすことにより、不安の解消につなげていきたいと思います。

H 氏：① 部活動が統合されることにより、試合に出られなくなる子もいるのではないかと。
② P T Aはどのような形になるのか。
③ バス通学の際の、代金はいくらになるのか。
④ 今後、土日の部活動に教員が関われなくなるとのことだが、現在も月・木が休みになっており、時間が少なく感じる。

事務局：① 部活動の規模によって、状況は変わってくると思います。
② P T Aの組織については、統合準備委員会の中で協議していきたいと思えます。
③ バス代については、「潮来市スクールバス等の運行に関する要綱」で決まっております、小中学生共通で月額1,000円となっています。
④ 部活動の時間については、他市との均衡を図り判断していますので、本市だけが少ないということはありません。

E 氏：牛堀中が先行して統合する理由の一つには、施設の老朽化もありますか。

事務局：施設の老朽化も理由の一つです。学習環境はとても大切です。潮来一中の校舎の方が新しいので、より良い環境で学習して欲しいという気持ちもあります。

I 氏：小学校については、少人数学級のメリットが大きいと感じます。ただ、中学校については、部活動の問題等もあるので合意を得られるのであれば、統合をしてもよいと思います。合意を得るプロセスで、アンケート等が実施されておらず、周知が足りないと感じます。

事務局：本計画の策定にあたっては、令和5年10～11月に小学3～中学3年生向けの児童生徒アンケート、小中学校保護者向けアンケート、教職員向けアンケートを実施しました。その後、令和6年3月に本計画を策定し、その内容について、令和6年5～6月に本説明会明会を開催しております。

5. 閉会